独立混成第三四旅団独立歩兵第六七三大隊

高橋 兵之助

年月日	概要
昭二〇 一 五	肖作命第八号独立大隊の仮編成に基き
二 一三	左記要員を以て、印度支那安南州慶和省「ナスオイダウ」に於て、仮編成、完結 独立混成第三四旅団高橋大隊と仮称す 独立歩兵第一八九大隊 陸軍大尉 高橋 兵之助 以下五九名 独立歩兵第一九〇大隊 陸軍中尉 金子 宗一 以下二名 独立混成第三四旅団司令部 陸軍経理部見習士官 今市 俊雄 以下三名 第二一師団 陸軍少尉 平沢 吉夫 以下一六名 善通寺師管南方軍補充要員 陸軍中尉 池内 久美 以下三二名 姫路師管南方軍補充員引率長附

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

以の内仏印

年月日	概要
	姫路師管南方軍補充員　肥田富太郎　以下　二名
	陸軍中尉　村上讃　以下　九〇名
	仙台師管南方軍補充要員
	陸軍少尉　笠原政雄　以下　八一名
	其の他（南方軍補充要員及び還送患者）
	陸軍衛生部見習士官　今西照倫　以下　七名
	計
	編成表別紙第一の如し、
昭二〇 二・二三	陸軍衛生部見習士官佐藤正名　独混成第三四旅団司令部に転属
二・二六	「ナトラン」に転進、爾後中部仏印の警備
三・九	「ばいかる丸」に依り、入院患者兵二名、内地還送
三・二九	中部仏印南地区（「ナトラン」附近）に在りて、明号作戦参加
三・二八	敵機空襲に依り「ファンテン」に於て、兵一名戦死
四・一三	敵空襲に依り「フローム」無線台に於て、兵一名戦死
五・一二	入院患者輸送途中敵機の空襲に依り「ムオン、マン」に於て、兵一名戦死
四・二六	陸軍上等兵　中島泰治以下四名、第三八軍通信隊に転属

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇 四 二〇	陸軍兵長渡辺悦一以下二〇名第三八軍野戦貨物廠に転属
五 二七	独立歩兵第六七三大隊に編成を命ぜられ
二 一三	仮編成せる高橋部隊兵員を以て
二 二一	編成完結す
	編成別紙第二の如し
五 二一	兵科見習士官、宮本孝徳以下一三名転属入
六 二〇	第三八軍兵站病馬廠より獣医務伍長奥田政雄転属入
七 二〇	「マドラック」に転進
八 九	北部仏印に転進の為、「マドラック」出発、
八 一〇	陸軍上等兵奥浜晃次以下五名第三船舶輸送司令部に転属
八 一四	「ニンホア」に於て、終戦の詔勅拝承
八 一九	北進途上「キノン」に於て、「ナトラン」集結を命ぜらる
八 二二	「ナトラン」着
	同日より、終戦処理準備
八 二五	独立混成第三四旅団通信隊より、陸軍軍曹、杉山太一以下七名転属入
八 二六	部隊集結途中「ニンホア」に於て、陸軍上等兵押部全多逃亡す
九 二〇	陸軍上等兵東原信良以下六名「タクバン」製糖会社警備無線通信要員として、
	同地歩兵第一六連隊第八中隊に分遣

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇、九、五	部隊編成以来副官として、勤務中の陸軍大尉、肥田富太郎転属入
二〇、一〇、八	「ナトラン」「ニンホア」「チクバン」「ツイホア」地区武装安南人（越盟）武装解除 本作戦間　戦死　将校　一名 戦傷　下士官　一名 兵　七名 計　八名
二〇、一〇、二六	「ナトラン」市町村近武装安南人掃蕩作戦 本作戦間　戦死　将校　二名 兵　七名 計　九名 戦傷　将校　三名 下士官　二名 兵　九名 計　一四名
二、七	「ナトラン」市附近の警備

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
	本作戦間　戦傷兵　三名
昭二〇・三・四	「キノン」印度支那銀行警備増強の為、陸軍中尉　木内直樹以下一五〇名海路富士丸に依り、派遣したるも、越盟との上陸交渉成立せず木内中尉のみ上陸し、他は
三・一一	「ナトラン」に帰還す
	「チノン」警備隊は
三・七	二時二〇分頃より越盟と戦斗状態に入り
三・九	一時三〇分以後通信杜絶し、消息不明となる
三・一三	陸軍中尉太田伍助以下三九名集結予定地「バリア」に先遣 陸軍上等兵飯治兵三郎実業補導教育助教として、南部印度支那軍司令部派遣
三・二六	「タクバン」製糖会社警備の為、派遣中の陸軍上等兵東原信長以下六名帰隊す
三・三〇	陸軍一等兵、今川信俊以下二名独立混成第三四旅団司令部転属
二一・一・一〇	部隊編成以来、勤務の陸軍軍医少尉、畠山四郎転属入軍の状況偵察中不慮死（溺死す）
二・四	陸軍伍長佐藤英治陸軍兵長幸保長治郎離隊逃亡す
二・八	「ナトラン」鉄道橋北西に二〇〇米山中に於て、右二名の自殺死体発見
三・五	南部印度支那軍司令部に派遣中の陸軍上等兵　飯治兵三郎　「バンア」先遣隊に復帰

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

の内仏印

年月日	概要
〃 〃	兵器、弾薬燃料経理物品、衛生薬品、同材料糧秣資金其の他一切の資料を連合軍に引継
三 二九	「ナトラン」出発
三 三一	「サンジャック」着
四 一	「ラクジャ」着
四 四	鉱山労務者陸軍兵長 松本民郎外四名 内地帰還の出発 昭二一年三月一五日附入院患者 陸軍伍長 井上芳考 外一名、南元第二陸軍病院に転属
四 五	陸軍伍長秋山東徳 外四名第二師団司令部に転属 陸軍上等兵坪井秀雄外五名第二師団司令部に転属 陸軍兵長紅谷政吉南方第二陸軍病院に転属（入院患者）
四 八	昭二〇、八、一〇、附陸軍上等兵阿部勝蔵外一四名 歩兵第四連隊に転属（入院患者整理）
四 一五	「サンジャック」港上陸
五 四	大竹港上陸 復員完結

歴代部隊長

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日

概要

陸軍大将　高橋　兵之助

部隊事情精通者

兵庫県武庫郡住吉村字唐松七八四

陸軍大尉　肥田　留太郎（副官）

東京都杉並区大宮前三ノ一五四石田慶吉方

陸軍曹長　穂苅　勝（本部書記）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp